

FUJIEDA ROTARY CLUB

# Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321  
事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org



薔 薇

写真提供：山田 昭雄君

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

## 第1808回

<ソング>それこそロータリー  
<ソングリーダー> 望月晃君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建

### ■ 会長報告

青島 克郎君

先週の創立記念例会には多くの皆様にご参加いただき楽しい例会が出来ましたことを感謝いたします。また、日曜日の地区協議会に出席された方は本当にご苦労様でした。

先週の火曜日に京都の京おどりへのお誘いを受け夫婦で出かけました

京都では毎年、都おどり、京おどり、北野おどり、鴨川おどり、祇園おどりの5つの公演が行われます。

都おどりは4月1日から30日にかけて祇園甲部歌舞練場で開催される井上流の祇園甲部の公演で、京おどりは4月初旬から下旬にかけて宮川町歌舞練場で公演され、鴨川おどりは5月1日から24日にかけて先斗町歌舞練場で公演されます。北野おどりは4月15日から25日にかけて上七軒歌舞練場で公演、そして祇園おどりは11月1日から10日まで祇園会館で行われる秋に上演される花街のおどりで。

京おどりが公演された宮川町歌舞練場は昭和44年に創設された舞子のための専門学校、東山女子学園の中にあります。

チケットは各お茶屋さんに予約が割り当てられ席が指定されています。

練場に入るとまず2階の茶席に通され抹茶とお菓子を頂きます。茶席といっても殆どの入場者が短時間のうちに済ませなければならぬので情緒などはありません。壇上で舞子がお茶を点てていますが余程運が良くないとそのお茶は頂けません。殆どが裏で点てたお茶を頂くこととなります。

お茶を頂いた後演舞場にはいってまもなく開演され舞子さんや芸子さんの華やかなおどりが始まり、全部で7幕のおどりが繰り広げられました。しっとりした色気のあるおどりやコミカルなおどりなど多彩な演目で1時間程度の公演はアツい間に終わりました。

ついでに花街について少し調べてみました。

京都には、おどりの数と同じ5つの花街がありそこには多くのお茶屋や置屋があります。祇園、先斗町、宮川町、上七軒、祇園東です。

祇園は八坂神社の近くにあり京都花街の代表格で大石蔵之助が遊んだという一力茶屋もここにあり祇園甲部とも呼ばれます。

先斗町は祇園から西に行き、鴨川をわたってすぐのところにある細い通りで祇園について有名な花街です。

宮川町は祇園よりも南にあり、人数では他の追随を許しません。格式の点で一歩劣るといわれています。

上七軒は5つの花街のなかでも最も古く、由緒格式が高いとされているが規模の点で著しく劣り北野天満宮の近くにあり交通の便が悪い。

祇園東は、祇園乙部といわれ、もともとは祇園の一部だったのですが祇園から切り離されました。したがって祇園甲部の客とは社会的ステータスに差が出来てしまいます。

宮川町にも沢山の置屋やお茶屋があり、それぞれが古い家なのでしょうが実に整然として綺麗に手入れされていることに驚きました。

## 幹事報告

仲田 廣志君

- 青少年交換事業実施クラブ募集の案内が届いております。
- 国際奉仕プロジェクト情報がガバナー事務所より届いております。
- 静岡第5分区ガバナー補佐訪問のお知らせが届いております。  
2009年5月20日
- ザ・ロータリアン誌が届いております。
- ロータリーワールドが届いております。
- 国際ロータリー日本事務局経理室より5月のロータリーレートのお知らせ  
1\$ = 98円
- 藤枝市「花と緑のまちづくりキャンペーン」への協力についての案内が届いております。  
平成21年5月4日 午前10時～11時  
蓮華寺池公園 滝の広場

## 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
25 / 37 67.57%	27 / 37 72.97%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
- 石垣君 北村君 鈴木勝君 春原君  
平君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君  
水野君 望月志君 渡辺君

## ビジター

藪崎 宰一君(藤枝南)

## スマイルBOX

- かみさんの誕生祝、私のかわりにプレゼントありがとうございました。 森下 敏顯君
- 美しいバラの花束が届きました。気が付けば早いもので33回目の結婚記念日。「お父さん、あと何回迎えられるのかねえ〜。」とは家内の意味深な言葉。私もメゲずに「取り合えず34回目を目標にがんばろうよ。宜しくね。」私も年を重ね大人になりました。青島会長をはじめ藤枝ロータリークラブのご配慮に感謝いたします。有難うござ

いました。

平 和則君

スマイル累計額 486,000円

## 委員会報告

『ロータリーの友4月号』紹介

クラブ広報担当 柳原寿男君

4月は雑誌月間です。

ロータリーの旗艦雑誌「The Rotarian」は英語で約50万部発行され、日本語の「ロータリーの友」は約10万部発行されている。その他約30の地域雑誌が25の異なる言語で出版、総数約125万部にのぼる。

雑誌月間にちなんで是非読んでいただきたい記事は、ヨコP10～14「ロータリーの友の本音」である。我が第2620地区のPastorガバナーであり、約30年もの間、「ロータリーの友」と関わりのある甲府の高野孫左工門氏を囲んだ座談形式の記事です。創刊から公式地域雑誌になった経緯や、苦労話、そしてロータリー雑誌の持つ真の意味について大いに考えさせられるものがあります。

RI指定記事のP16～21は、黒人初の英国国協会の大司教デズモンド・ツツ氏のインタビューです。1984年のノーベル平和賞受賞者で、6月のバーミンガム国際大会の時、ロータリー世界平和シンポジウムで講演を予定されています。「平和を望むなら、我々はまず貧困に打ち勝つために専心しなければならない」という大変含蓄に富む話です。

タテのトップ記事は井村裕夫氏の「高冷社会とサクセスフルエイジング」と題して、第2620地区 地区大会講演要旨です。健康で長生きするためのノーハウが述べられています。くらぶ探訪は、25年間に5人のガバナーを輩出した長崎県の佐世保南ロータリークラブです。

## 地区協議会報告

### 次年度会長

松葉 隆夫君



4月19日(日)地区協議会が甲府シティロータリークラブのホストでアイメッセ山梨で行われました。藤枝クラブより9名、藤枝南クラブより10名の会員が参加致しました。

10時30分開会の点鐘、国歌斉唱、「奉仕の理想」山本実行委員長より開会の言葉、ホストクラブ会長の歓迎の言葉にひきつづき、牧田ガバナーの挨拶、ガバナーエレクトノミニー紹介、アドバイザー紹介をし、飯田ガバナーエレクトが、次期ガバナー補佐紹介、ガバナーエレクト次年度方針を終え、井上次期研修委員会委員長挨拶で本会を終了し、昼食後分科会が行われました。会長、幹事会はペッツと同じ話でしたので報告は省かせて頂きます。

### 次年度幹事

増田 國衛君



4月19日甲府の「アイメッセ山梨」にて2620地区の地区協議会が開催され、当クラブより9名藤枝南クラブより11名の総勢20名で出席して参りました。10:30から行われた本会議では、牧田ガバナーの挨拶、飯田ガバナーエレクトの次年度方針発表、井上次期研修委員会委員長の挨拶があり、午後からは各委員毎に分科会が開かれました。

ガバナー挨拶では、「クラブとRIは対等の立場にあり、クラブはRIの定款や細則等に反しない限り、自らの組織や奉仕活動の内容を決定する自治権がある。ジョンケニー会長エレクトの掲げる

『ロータリーの未来はあなたの手の中に』というテーマは、ロータリー活動を原点に戻って、クラブの活動を生き生きと活発なものとする事に着目し強調しているのだと思う」との話がありました。更に2620地区内で最近ニュースとして静岡県に於いて米山学友会が結成された、ブラジルやペルーから出稼ぎに来ている人達が最近の不況により職を失い困っている事からブラジル会を通じ救援の手をさしのべた、市川大門RCに於いて全メンバーがポールハリスフェローとなった。以上、3つの喜ばしいニュースがあったとの事でした。

また飯田ガバナーエレクトからは2009~2010年度地区目標が次の通り明示されました。

1. 会員増強  
各クラブ純増1名以上
2. ロータリー財団寄付  
US\$100/人・年
3. ベネファクター  
各クラブ1名以上
4. 米山記念奨学会事業寄付  
¥12,000/人・年
5. ポリオ撲滅資金への寄付  
US\$23/人・年  
(DDF資金の剰余金を活用する)
6. GSE(研究グループ交換)  
相手地区: 第3490地区(台湾)  
派遣: 2010/4/10 - 2010/5/9  
受入: 2009/10/24 - 2009/11/22

井上次期地区研修委員会委員長からは「職業奉仕という訳語は元のVocational Serviceを的確に表しているとは言えないので最近はそのままボケーションナルサービスと言っているケースが増えている。敢えて日本語にするなら「忠恕」の方がふさわしいかもしれない。また各クラブにおいても研修リーダーをにおいてリーダーのための勉強をやって頂きたい」という話がありました。

## 会員増強委員会

村松 英昭君



はじめに、道部パストガバナーより基調講演があり、ロータリーの全世界の現状は、200カ国の国々にロータリークラブがあり、33,000クラブあり会員数122万人です。日本は、95,000人、当地区は3,300人です。女性会員は、外国13%、日本3.5%の比率です。

全体として、徐々に会員は減少しています。

つぎに、会員増強の必要性和会員増強のための委員会の役割について話されました。

必要性は、ロータリー活動にはいろいろな広報活動を通じて、一般人にロータリーを知っていただく。

奉仕プロジェクトは、会員候補者と共に奉仕を行い理解してもらう。

クラブ奉仕は、知人を例会に招き、ロータリーの雰囲気を感じ理解していただく。

次に、よく量か質かが問題になりますと話され、手続要覧には、「善良な成人で一般社会において評判の良い方で経済基盤のしっかりしている方とかがかかれています。」と述べられました。

日本のクラブでは、入会后3年未満で退会する方が一番多く、3年以上経て退会する方は大変少ない、退会理由としては、入会したけれど、例会時口をきいてくれず、居心地が悪いためが一番多いそうです。と付け加えられ話を終えられました。その後、委員同士の話し合いとなり、具体的に増強のポイントについて話し合いました。

- 他の奉仕団体との違いを特色として伝える。
- 例会はすべて早朝とする。例会に出席しやすい。
- ローターアクトから入会した方の発言で、ロータリアンが素敵で尊敬できる方々だったのでその様な人間に自分もなりたいたいと思い入会しましたと。

- 楽しい仲間ができるよと2～3年かけて入会を促し、奉仕の精神を説く。
- 金融機関の会員の方に入会しそうな方を聞いてみる。
- 若手の方を増強委員長に抜擢する。

以上報告いたします。

## 広報・IT委員会

青島 克郎君



地区委員長：中沢龍雄

アドバイザー：井上雅雄

IT小委員長：広瀬 建

### 広報活動について

- FM放送によるロータリーの広報活動を行っているがその効果については十分とはいえない。
- 今後WEBによるロータリーの外部への広報活動を充実させていきたい。
- ロータリークレジットカードは所有する事、利用することによりRI財団にキックバックとして入金されるため出きるだけ多くの会員に利用していただきたいがまだまだ普及していないので各クラブで普及に力を注いで欲しい。
- ガバナー月信は今年度地区ホームページに掲載しメールによる配信を行ったが閲覧の状況が芳しくないようなので次年度は以前のように印刷物による配信となる。

### IT活動について

- 地区の援助もあって全てのクラブにパソコンを設置出来たがメールやホームページの活用にはクラブ間の格差が大きい。クラブや地区への連絡はメールに徹底できるようにしてゆきたい。

### 当クラブとしての活動について

- 公共図書館へのロータリーの友の配布をおこなっているクラブがあるが当藤枝市にも駅南に立派な図書館が出来たので日本語版と英語版を2

冊くらいずつ配布したらどうかと思います。

- ・広報活動や IT 活動は R I や地区に依存するのではなくクラブ毎に H P のリンク依頼等、自発的に進める必要があるように思う。
- ・藤枝、藤枝南クラブの H P は運用を初めて 7 年になりますもう一段上のステージに進む時期に来ていると思われます。またメールの利用状況についてもさらなる啓蒙が必要であります。

### 職業奉仕委員会

青島 彰君



職業奉仕分科会は当

日の午後、1 時間半の予定で開催されました。

委員長の挨拶に続いて職業奉仕についての考え方、取り組み方等が発表されました。

内容的には目新しいものは特にありませんでした。

C L P によりクラブ・職業・社会・国際の四大奉仕部門が奉仕プロジェクト委員会としてまとめられた経緯があるのですから各部門を総合的に捉えた指針等を示さなかったのか不満に思いました。

参加クラブの委員から具体的な事例等の情報交換が出来ないかとの意見がかなりありました。昨年度から主催している「冠講座」を紹介しました。

当クラブでは毎年、多彩な対外事業が行われています。年度末に総括の場を設けて事業の検証を行うことが必要ではないかと考えます。

### 社会奉仕委員会

大塚 博巳君

1 . 委員長 横山文彦氏(大月 R C )の挨拶

(1) 昔は予算 6 0 0 万円規模で、大きな事業を進めてきた。

- ・富士山の美化活動
- ・オイスカに協賛

(オイスカとは：本部を日本に置き、現在 2 6 の国と地域に組織を持つ国際 N G O (非営利組織)で、主にアジア・太平洋地域で

農村開発や環境保全活動を展開している。)しかし近年は少しずつ減り、次年度は予算 2 0 万円となっている。したがって各クラブにおいては創意工夫をして、地域についての社会奉仕に取り組んでほしい。本日は幾つかのクラブに活動状況を報告してもらうので参考にして頂きたい。

(2) アンケートの実施

次年度ないし、今後のクラブ運営の参考にする為、全クラブに対し「他クラブに参考になる社会奉仕活動・事業」のアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

## 2 . 報告

(1) 榛南 R C

継続事業

- ・れんげ畑計画

(目的)メンバーの子供時代の楽しい思い出を、現代の子ども達に味合わせ。種まきから実施し、子ども達の遊び場に貢献している。(15 年前にスタート)

- ・チュウリップ栽培 吉田公園(緑化祭跡地)でチュウリップ祭りを開催。
- ・海岸清掃

本年は 30 周年の為、記念事業として A E D 2 台を市に寄贈。

(2) 浜松 R C

テーマは「森林を良くする！」

他の N P O 団体等のイベントに協賛し、家族散策で森林を知ってもらう。又、地域の民話で地域のことも知ってもらうコーナーを担当している。

“物づくりのまち”をアピールする事業の推進。(小中学生を対象に実施)

(3) 甲府東 R C

障害者施設に車椅子の寄贈  
市に対して図書寄贈

(4) 大月 R C

ネパールに対して、民族楽器を 100 セツ

ト寄贈

牛乳パックの再利用をアピール（牛乳パック再利用は大月市が発祥の地）

#### 関係団体

##### (1) 富士吉田 R C

富士山散策コース・・・国の土地を活用（国に申請をして認証をもらった。）

基本は地域のニーズにあったもの。金を出すのみでなく汗を流すことも大切。R C 地区補助金の活用 etc

##### (2) 熱海南 R C

将来を見据えオイスカ静岡に 2001 年より協賛している。今後も取り組む。

##### (3) 甲府南 R C

オイスカ山梨に協賛している。1998～2004 の 6 年ベトナムの共同作業。

##### (4) 甲府 R C

日本砂漠緑化実践協会の活動紹介。地球温暖化対策「砂漠に緑の森をつくりましょう！」

政治家「石橋湛山(山梨出身)」の実践力・指導力を学べ。

遠山正瑛(山梨出身)のポリシー「やればできる、やらねば出来ない」

中国の砂漠を緑に変えた熱意と根性。何度も挑戦し現在では 300 万本のポプラの林ができた。

### 3. 感想

各地クラブは夫々地域にあった活動として、「一緒に遊ぶ・楽しむ・学ぶ」を上手く取り入れて社会奉仕事業を進めていることを確認できました。

#### 新世代委員会

春原 良則君

##### 1. 今後の取り組み

アクトをもつ地区内 20 の高校の中でクラブ部として認めている学校は 5 校。後は、同好会・愛好会・サークル活動・生徒会の

下部組織になっている。生徒間の引き継ぎもなく他クラブと重複しているので運営も大変との事。インターアクトの学校での地位を高めるためにホームクラブの小委員会はできるだけ学校長・顧問の先生と密に会話をし、クラブとして認めて頂く事に努力する。

##### 2. 委員会検討事項

ローターアクトは年齢制限が 18 歳から 30 歳までとなっておりますが、現状では入会時の年齢が 26 歳～27 歳が大半を占める為、活動し始める頃には定年となってしまいます。依って、各アクトクラブの内視を変更し定年延長をお願いしたい。指導者として 35 歳位迄としたらどうかと検討をお願いします。35 歳でアクトを卒業しロータリー入会が理想かも知れません。次にインターアクトとの交流会を実施したらどうか、の案がありましたので、山梨地区・静岡地区で年各 1 回程度試験的に実施出来るようにご検討をお願いします。

パンフレットに広告を載せたらどうか、につきましては現状の物がありますので暫くそれを利用します。広告については今後検討します。

#### ロータリー財団委員会

松葉 義之君

分科会（発表者 敬称略）

リーダー R 財団委員長 曾根 真人（静岡東）  
司 会 小林 武治（静岡）

##### ロータリー財団の活動と資金の流れ

2009～10 年度目標

1. ロータリー財団寄付 US\$ 100 / 人・年
2. ベネファクター 各クラブ 1 名以上
3. 米山記念奨学会事業寄付  
¥ 12,000 / 人・年
4. ポリオ撲滅資金への寄付  
US\$ 23 / 人・年（3 年間）

## 小委員会委員長発表

1. 奨学金小委員会 阿部 裕之（静岡日本平）  
国際親善奨学金制度と奨学生募集について
2. GSE小委員会 高村 信継（静岡）  
GSE事業とメンバー募集について  
交換先 RI3490地区〔台湾北東部、宜蘭県・花蓮県・基隆市他〕

## 受入予定

10月24日～11月22日

静岡第5分区 10月31日～11月7日

11月8日 2620地区 地区大会参加

## 派遣予定

2010年 4月10日～5月9日

3. 補助金小委員会 矢部 達樹（吉原）  
地区補助金募集とマッチンググラントについて
4. 財団学友小委員会 佐藤 正幸（甲府）  
財団学友会（山静学友会）の活動について
5. 年次寄付・恒久基金小委員会 内田 英男（静岡西）  
財団への寄付とロータリーカードのお願い  
オリコカード = シルバー・ゴールド
6. ポリオプラス小委員会 氏原 勲（甲府南）  
ゲイツ財団の新たな2億5,500万ドル資金協力とポリオプラスと2億ドルチャレンジについて

閉会挨拶 小楠 倫嗣（浜松南）

## 地区協議会

日時 平成21年4月19日（日）

会場 アイメッセ山梨



（担当 / 青島彰）